

システム稼働状況について

	(頁)
I . NACCS稼働状況	1

システムの安定運用を最重要課題として取り組んでいます。
従来はシステム障害が発生したら迅速に復旧するとの対応でしたが、システム障害の予兆となり得る事象・現象（インシデント）の段階で予防措置を講ずるインシデント管理を実施し、国際物流に関わる関係者への影響を最大限抑制するよう努めています。また、安定運用の日（12月10日）を定め訓練を実施しています。

I . NACCS稼働状況【平成27年1～12月】

1. 稼働状況

規定運用時間	計画停止時間	運用時間	障害停止時間	稼働率
8,760時間00分	28時間30分	8,731時間30分	0時間00分	100.00%

(注)1. 規定運用時間

1日のシステム運用時間(24時間00分)の当該期間における総時間を示す。

(注)2. 計画停止時間

センターが、センター設備の設定変更等のためあらかじめ利用者に周知し、センター設備を停止した時間を示す。

(注)3. 運用時間

規定運用時間から計画停止時間を控除した時間を示す。

(注)4. 稼働率

(運用時間－停止時間)÷運用時間で示す。

運用時間:利用者システムとの接続形態別によるセンター設備機器毎の延べ運用時間

停止時間:接続形態別センター設備機器毎の障害停止の延べ時間

2. 障害状況

項目	当年件数	前年件数
システム関係	0	0
回線関係	0	0
障害内容		
(1)システム関係 0件		
(2)回線関係 0件		

3. トラフィック件数

(単位:千件)

	航空	前年比	海上	前年比	合計	前年比
輸出	118,925	101.82%	39,781	98.20%	158,706	100.89%
輸入	125,561	99.78%	66,040	98.42%	191,601	99.31%
監視・輸出入共通	12,270	101.74%	62,506	103.77%	74,776	103.43%
小計	256,756	100.81%	168,327	100.29%	425,083	100.60%
その他					37,068	100.21%
他システム					47,655	129.80%
総計					509,806	102.73%